

## 報告

### 気象庁発表の 津波情報等へ活用

#### 徳島海陽沖 GPS波浪計

平成22年1月に徳島県海部郡海陽町(竹ヶ島)沖合約20kmにGPS波浪計が設置されました。

現地観測データの初期設定など試験運用を約1年間実施し、平成22年12月8日からナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)の、WEBサイトを通じて波浪データをリアルタイムで公開しています。

また、徳島海陽沖GPS波浪計データは、平成23年3月24日より、気象庁の津波警報、津波注意報など津波情報にも活用される予定でしたが、このたびの地震対応からしばらく延期となりました。

ナウファスでは引き続きデータを公開しておりますので、地域の防災・減災対策にご利用ください。

<GPS波浪計とは?・・・あわみなと通信Vol.19参照>



## 報告

### 国際線 チャーター便就航

#### 徳島阿波おどり空港

徳島と、中国 長沙(湖南省)を結ぶ国際定期チャーター便が3月22日就航。

徳島空港では初の国際定期便の就航です。

この国際定期チャーター便は、「トライアングルチャーター」と呼ばれる手法で、徳島(静岡)長沙を年間72往復する計画です。徳島阿波おどり空港に着いた中国からのツアー客は、静岡空港より帰国し、また逆ルートのツアー客は京阪神、徳島などを観光した後、徳島阿波おどり空港から帰国するようになります。

3月22日の特別便は、中国からの観光客を運んだ後の出発便で、県の訪問団(県内企業、関係者等)が中国に行き、徳島の観光PRなどを予定しております。



読者のみなさま、こんにちは、事務所長の河西です。

さて、みなさんは最近、「徳島阿波おどり空港」を利用されたでしょうか?

最近利用された方は気がついたと思いますが、ターミナルビル北側の風景が、昨年とは大きく変わりました。昨年4月のリニューアルオープン当時はほとんど植栽がなく、殺風景でしたが、昨年12月より、随所に徳島県の木である「ヤマモモ」を植樹するとともに、ホルトノキなどの高木やヒラドツツジなどの低木、ブルーパシフィックなどの地被類を組み合わせた植栽工事を行いました。

「徳島阿波おどり空港」は、東京便への全日空の再参入や空港の運用時間延長に加え、3月22日から、中国・湖南省の長沙との間で国際定期チャーター便が就航するなど、徳島県の経済、観光・交流の中心施設となっています。今回、これに相応しい景観を醸し出す事ができたものと自負しています。

4月から新年度です。気持ちを新たに頑張りたいと思いますので、引き続き、当事務所の事業にご理解とご支援をお願いします。

小松島港湾・空港整備事務所長 河西 博

風  
NAGI

## 出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所  
TEL (0885)-32-3357

ホームページ 「暮らしを支える港湾と空港の話」  
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>  
よりお問い合わせください。